

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	順天堂大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	病院感染予防のための国際的教育研究拠点		
中核となる専攻等名	医学研究科病理系専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-) 平松 啓一 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>この申請は、基礎・臨床医学を横断した新規の大学院研究教育分野として「病院感染制御科学」の拠点形成に関する。本学病理系研究科の基礎研究をさらに促進し、病院感染克服に向けた突破口となる斬新な応用研究を展開する。本拠点の大学院生には、病原体・生体防御の基礎研究に参画させ、感染制御の臨床訓練を実地で学習させることにより、感染症の克服を強く志す新しい世代の「感染制御科学者(Doctor of Infection Control Science)」を育てる。この学位の取得者は、病院感染を制御し、地域社会における感染症の蔓延を未然に防ぎ、人々を感染の脅威から防衛する能力を持つ専門的指導者として社会に貢献する。また、その一部は、感染症の基礎と臨床の諸分野に通暁した新しい世代の基礎研究者として21世紀の感染症研究の旗手となる。臨床訓練に関しては世界最高水準にある英国の感染制御医養成プログラム(DipHIC)と緊密に連携しながら行い、基礎研究訓練では、病原体、生体防御の両分野の基礎実験科学を通じて、基本的な科学的思考訓練に加えて、感染症の基礎科学諸分野の方法論に広く通暁させる。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>院内感染制御は、本邦では専門的な取り組みがやや遅れていた分野で、今回のSARSでも明らかのように大変重要な分野である。本提案は、医療、研究、人材育成の三点において総合的に拠点形成を目指した意欲的プログラムであることを評価する。MRSA研究で実績のあるリーダーの指導力が期待できる。</p>			